

南 砺 市 立 福 光 美 術 館
所 蔵 作 品 に よ る

棟 方 志 功 展

2007年 9月1日[土]-10月8日[月]



1971年
沢瀉妃の櫛

喜 多 方 市 美 術 館

- 開館時間 / 10:00 - 18:00 (最終入館は17:30まで)
- 休 館 日 / 月曜日 (ただし9/17、24、10/8は開館、9/18、25休館)
- 観 覧 料 / 一般 500円 (400円)
大学・高校生 300円 (250円)
小・中学生 200円 (150円)
※ ()内は20名以上の団体割引料金

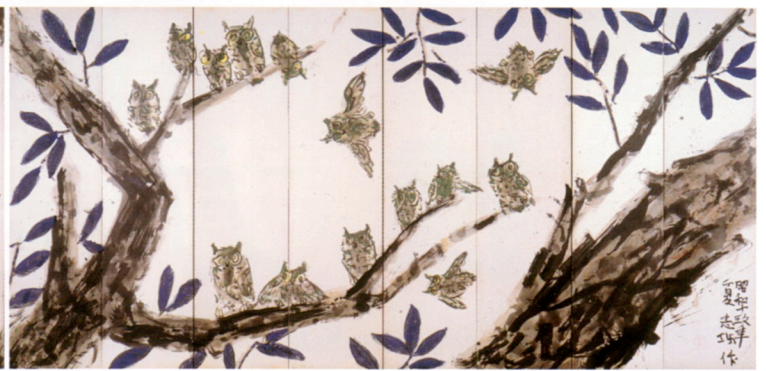
〒966-0094 喜多方市字押切2-2
tel.0241-23-0404 fax.0241-23-0406
http://www.city.kitakata.fukushima.jp/bijyutsukan/

- 主催 / 喜多方市美術館
- 協力 / 南砺市立福光美術館・棟方板画美術館・棟方志功展開催実行委員会
- 助成 / 財団法人地域創造
- 後援 / 福島民報社・福島民友新聞社・朝日新聞福島総局・読売新聞福島支局
毎日新聞福島支局・産経新聞福島支局・河北新報社福島総局・NHK福島放送局
福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・ラジオ福島
ふくしまFM・エフエム会津・喜多方シティエフエム



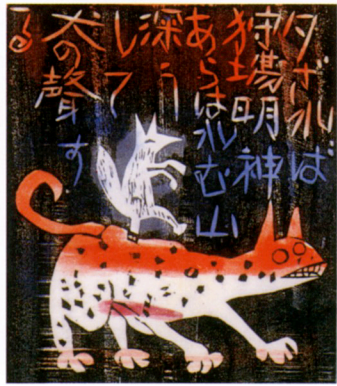
宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。



1							
2			3				
4	5	6	7				

- 1 美魅寿玖の図
紙本着色八曲一双屏風
1944年
- 2 四神板経天井画欄
天妃鼓笛す
板画
1949年
- 3 無事
書
1947年
- 4 流離抄板画欄
狐狼の柵
板画
1953年
- 5 流離抄板画欄
古袷の柵
板画
1953年
- 6 柳緑花紅頌
侘助の柵 (部分)
板画
1955年
- 7 鐘溪頌板画欄
朝菊の柵
板画
1945年



「わだばゴッホになる」が口癖で、自分の「版画」を「板画」と称していた棟方志功は、1903（明治36）年、15人兄弟の第6子、3男として青森市に生まれました。18歳のとき雑誌『白樺』に掲載されたゴッホの〈ひまわり〉に感銘を受け画家になる決心をします。その後、川上澄生の版画と出会い強く心を打たれて版画の世界に入りました。そして、力強い、エネルギーあふれる表現と自由奔放で優美な表現を合わせもつ独自の板画の世界を確立し、世界中の人々を魅了しました。本展では、棟方志功が昭和20年から昭和26年まで疎開をした富山県西砺波郡福光町（現在南砺市）の南砺市立福光美術館所蔵作品の中から板画、油彩画、書など65点を紹介します。疎開中の福光町で、棟方志功は、生涯を通じて最も多く作品を作り出しました。あり余るエネルギーと情熱から生み出された独特の《棟方志功》作品をご覧になり、その世界をお楽しみください。



◇ 交通のご案内
 ・JR喜多方駅から 約1.5km 徒歩20分
 タクシーで5分
 ・磐越自動車道会津若松ICから 約19km 車で30分
 ・磐越自動車道会津坂下ICから 約20km 車で30分
 車でご来館の場合は、喜多方プラザ文化センターの駐車場をご利用ください。

●関連事業

ギャラリートーク

2007年9月1日（土）

10：30～11：30

会場/喜多方市美術館展示室

講師/棟方板画美術館学芸員 石井頼子氏

・ 展覧会当日入場券が必要です。

講演会

「彫る—棟方志功の世界」

〈孫が語る知られざる棟方の姿〉

2007年9月15日（土）

18：30～20：00（開場18：00）

会場/喜多方蔵の里内「イベント蔵」

講師/棟方板画美術館学芸員 石井頼子氏

入場料/1,000円（展覧会もご覧になれます）

・ 9月1日から美術館窓口で発売します。

お問い合わせ 喜多方市美術館 0241-23-0404

石井頼子（いしいよりこ）氏プロフィール

1956年東京都に生まれる。母は棟方志功の長女。

1979年慶応義塾大学文学部卒業。同年より財団法人棟方板画館に勤務。棟方板画美術館学芸員として作品の整理及び解説にあたる。

1982年棟方板画美術館開館にともない同館図録『棟方志功の板業』を編集。2004～06年日本民藝館設立70周年記念「棟方志功展」監修。同展図録を編集。2006年『棟方志功の絵手紙』（二玄社・小池邦夫との共編）刊行。

講演会、執筆活動、展覧会監修等の普及活動のほか、現在は特に棟方の書簡整理に力を注いでいる。